血液培養検査において、同日に 2 セット以上の実施割合（血液培養検査複数セット採取率）

【指標の定義】

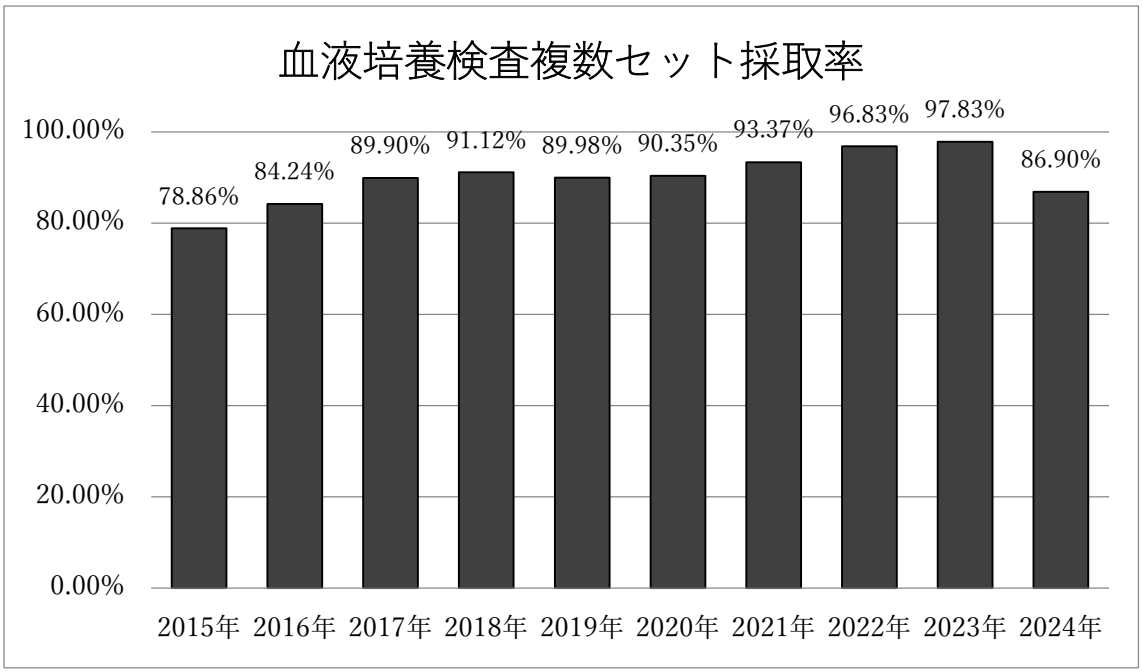
同日に 2 セット以上提出された血液培養の採取率

算出方法：（合計採取セット数－合計 1 セット採取数）／合計採取セット数×100

※小児科除く

※小児科以外の診療科で複数セット採取率 90%以上を目標とする

【当院の実績】




【指標の説明】

血液培養検査は、敗血症などの重篤な全身感染症の起因菌を効率よく検出できる重要な感染症検査です。感染症診療における迅速かつ正確な診断と適切な抗菌薬治療選択のために大きな役割を持っています。そのため、血液培養検査が適切に実施されているかを評価する必要があります。

検出菌が起因菌かコンタミネーション（汚染菌）かを適切に判断することは、抗菌薬適正使用に繋がります。血液培養検査では 1 回の検査で複数セット採取することで、起因菌・コンタミネーションの臨床判断の指標になり、起因菌検出率が向上するとされています。適切な感染症診療を実施する上で、血液培養検査複数セット採取率の向上が重要であると考えられます。

2024 年は血液培養ボトルの出荷制限が発生したため、全国的に血液培養ボトルが不足しました。当院でも血液培養検査の制限を実施することとなった結果、複数セット採取率は 86.90%へ低下しています。